



## 三者協議会が開催されました



12月4日(金)の放課後、三者協議会が開かれました。三者協議会とは、箕輪進修高校の生徒・父母・教職員の三者が話し合いをもつことにより、より良い学校づくりをめざして設置された協議会です。今回は「コロナ禍の学校生活」をテーマに、生徒が学校生活に対してどのような意見をもっているかを明らかにし、今後の学

校生活をより良くするための話し合いの参考にすることを目的に開催されました。生徒からは新旧生徒会執行役員、父母を代表してPTA正副会長様、そして学校長をはじめ約20名の教職員が出席しました。休校中の学習については、クリエイト工学科の生徒から、「YouTubeを使った授業がとても解りやすくよかった。細かいところの説明がよくわかり、解らなければくり返し観られるのがよかった。今後オンラインによる授業がある場合はこの形式でやって欲しい」との要望があり、これに対して教員側からは、「より良い教材を提供できるように、教員も工夫したい」との回答がありました。その他、コロナ対策のルールをもう一度徹底したほうがよいとの意見やコロナによる進路活動の制限による不安な胸の内を吐露する生徒もいました。会が進むにつれて活発な意見交換が行われ、大変有意義な協議会となりました。(みのしんパワー「協働する力」)



## あいさつ運動

～気持ちよく1日が始まることを目指して～

本校では、生徒会執行部の生徒が毎朝昇降口に立ち、登校してきた生徒とあいさつを交わしています。12月以降はコロナの感染拡大に伴い、生活委員の生徒も加わりアルコール消毒とマスクの配布も行っています。この日の朝は特に冷え込みが厳しかったですが、生徒たちは元気にあいさつしていました。寒さにも負けず元気にあいさつしている生徒たちに、朝から元気をもらいました。(みのしんパワー「基本的な生活習慣」) ※写真は末尾に掲載しました

## 部活訪問

## ～フェンシング部の巻～



部活訪問、今回はフェンシング部にお邪魔しました。箕輪町は言わずと知れたフェンシングの町。町をあげてフェンシングの振興に取り組んでいます。そんな環境のもと、本校のフェンシング部も伝統があり、数々の名プレイヤーを育ててきました。現在は部員3名(2年生1名、1年生2名)と少なめですが、冬の寒い体育館で元気に活動していました。

部長の林孝輔君(2-5)によると、「部員が少ないけど、その分顧問の先生方に細かい指導を受けることができるというメリットもある。部長は大変だけど、大きな声で部員に指示をだせるように頑張りたい」と決意も表明してくれました。取材をした時は、中村駿太君(クリエイト工学科1年)が伊那弥生ヶ丘高校の生徒とファイティングをしていました。中村君は全国ランキング(13～17歳の部)19位の選手で、来年1月10日に東京の駒沢オリンピック公園体育館で開催される、ジュニアオリンピックカップへの出場を控えています。「久しぶりの大会ですが、一試合でも多くできるようにがんばりたい」と抱負を語ってくれました。顧問の井澤貴志教諭によると「ディフェンスが固く、突くタイミングが良い選手」だということです。また、団体戦としては、1月22日から福井県で開催される北信越新人大会にエペ団体で出場が予定されています。



中村駿太君

皆さんの活躍を期待しています！がんばれフェンシング部！



← あいさつ運動の1コマ

登校したら生徒昇降口でアルコール消毒をしてから教室に向かいます。コロナが終息するまで感染予防に努めます。



## 箕輪進修高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minowa/>  
箕輪進修高校の情報が満載。ぜひご覧ください。  
学校に対するご意見・ご要望は、トップページの  
問い合わせメールに送信してください。

